

目 標 達 成 計 画

事業所名： グループホームさつき

作成日 ： 令和 7年 4月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	48a	ご利用者やご家族の意見を聞きいて、運営に活かしたい。	ご利用者やご家族、地域の方からの意見等を聞く場や機会が増え、出てきた要望や意見を運営に活かせる。	①イベントについて運営推進会議の場でアイデアや意見を募り、イベント開催に活かす。 ② 運営推進会議の場で、ご家族やご利用者が意見や要望を出せるような質問をする場・機会を増やす。 ③イベント後等にアンケートを実施し、運営に意見が反映できているかモニタリングを行う。	12 か月	
2	39b	地域との付き合い面で、関係を広げる働きかけがあまり出来ていない。(特に仕事に出ている若い世代との交流があまり持てていない)	地域に向けて、事業所の有用性や専門性を活かした発信をすることで、幅広い年代に向けて事業所の認知度を深める。	① 地域の方に挨拶をする。(今以上に) ②認知症についてのコラム等をポスティングする。	24 か月	
3	13 ab	希望に沿った外出支援を行いたい。	一人一人の外出に対する希望を把握し、ご家族の協力や地域資源を活用して希望に沿って外出できるよう支援に努める。	外出を楽しまれる気持ちがあるご利用者に対しては、気候が良い季節は特に、ホームの介護者とだけでなく、ご家族等と協力し、または地域資源を活用して外出できる機会を確保する。	6 か月	
4	29a 43a	身体拘束や虐待について勉強会等は定期的に行っているが、やむを得ず夜間帯に鍵をかける等の身体拘束行為を行った事例がある。	どのような症状があるご利用者に対しても、どうにかして一日を通して鍵をかけない対応が出来ないか、定期的に行っている身体拘束・虐待防止の勉強会や班会議において、鍵をかけることによる弊害の理解を深め、かつ対応策を講じる力をつけていく。	①これまで通り身体拘束、虐待防止の勉強会等を定期的に開催し、または研修会等に参加する機会を設ける。 ②身体拘束の必要性が高まった場合は、ご利用者のご家族にもなるべく参加いただき協力いただける点がないかやご家族としてのご意見・ご要望について伺い、共に身体拘束をする以外で方法が無いか検討する。	12 か月	

注1)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2)項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3)外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。

注4)目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		
実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓ 該当するものすべてに○印)
1	サービス評価の事前準備	☐ ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		☐ ②利用者へサービス評価について説明した
		☐ ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		☐ ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		☐ ⑤その他()
2	自己評価の実施	☐ ①自己評価を職員全員が実施した
		☐ ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		☐ ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		☐ ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		☐ ⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	☐ ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		☐ ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		☐ ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		☐ ④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	☐ ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		☐ ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐ ③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		☐ ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐ ⑤その他()
5	サービス評価の活用	☐ ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		☐ ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		☐ ③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		☐ ④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		☐ ⑤その他()